

活動の柱

- 1 青少年の体験活動の促進
- 2 青少年団体の育成と支援
- 3 青少年に望ましい地域づくり
- 4 青少年に関する相談と対応
- 5 青少年に関する調査と情報提供



神奈川県青少年指導員だより

第52号

- 2015年3月 -

発行 神奈川県青少年指導員
連絡協議会
発行者 石井一也
連絡先 045-210-1111(代)
神奈川県青少年課内
印刷 文一堂印刷株式会社
045-231-1931

第47回 神奈川県青少年指導員大会開催

— 地域で育てよう、青少年の明るい未来 —

第47回神奈川県青少年指導員大会が、平成26年11月9日「小田原市生涯学習センターけやき」で465名の参加者を迎えて、盛大に開催されました。

県西地域2市8町の青少年指導員連絡協議会は、大会前月までに5回の実行委員会を開催して大会開催の準備を進めてきました。

◆オープニング

「歌いたい子どもの心を大切に」を目標に結成された、小田原青少年少女合唱隊の合唱で幕を開けました。長年にわたる内外での活躍にふさわしい素晴らしい歌声で「オープニングにふさわしく気持ちよく大会に入っていた」など、大変好評でした。



オープニング

◆開会・表彰式

高島和之大会実行委員長の開会宣言の後、県青少年指導員連絡協議会の石井一也会長、吉川伸治神奈川県副知事、加藤憲一小田原市長から主催者あいさつがありました。石井会長は「私たち青少年指導員は、子どもたちが様々な困難に遭遇しても夢をあきらめることなく生きていけるよう、地域の皆様とともに健全育成活動に取り組んでいかなくはなりません」と述べました。

続いて、60名の皆様が青少年指導員表彰を受賞され、感謝状が贈呈されました。来賓の方々をはじめ、会場からも惜しめない拍手が送られました。



主催者あいさつ

◆活動事例発表

小田原市青少年育成推進員協議会の活動概要を紹介するとともに、活動事例として「地域少年リーダー養成講座～きらめきロビンフッド～」が紹介され「ストーリー性のある段階的な活動計画など、独自の活動が参考になりました」との声が寄せられました。

◆講演

(一財)児童健全育成推進財団の鈴木一光理事長を講師に迎えて「大人が子どもを見守る意味」をテーマに講演をいただきました。

子育ての目的は「精神的・経済的に自立した大人に育てること」なのに、親が社会的な成功などを求めて子どもだけ良くしようと叱咤激励すると「子どもが辛い育ちになってしまう」と子育ての意義からお話をされました。

また、どのように子育てをしたらよいかについて「読み聞かせで想像力を高めたり、一緒に遊びに熱中するなどして、子どものあらゆる能力を高めることが大切で、その過程で自己肯定感を育むことができればベスト」と語られました。

ダーウィンの進化論から宮崎アニメのエピソードまで交えた講演で、参加者からは「楽しみながら良い学びになった。参加して得した気分になった」との声を多数いただきました。



講演の様子

◆終わりに

次回、相模原地域の大会実行委員長である市丸克己委員長(相模原市長)から来年度の大会のご案内の後、大川良則副実行委員長(小田原市)による閉会の言葉で大会の幕を閉じました。

県指導員大会を振り返って

第47回 神奈川県青少年指導員大会実行委員長 高 畠 和 之



開会のことば

第47回 神奈川県青少年指導員大会が県西地域小田原において開催され、県関係者、地域の指導員その他多くの皆様のご協力により、無事に終了することが出来ました。

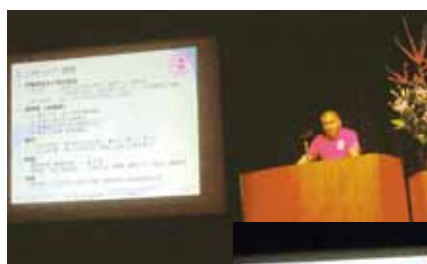
この大会に向け準備に携わってこられた方々、また当日のアトラクション、事例発表、講演された講師の方、会場内外で活動していただいた方、そして遠方より会場に参加していただいた方々すべての皆様に心より感謝申し上げます。

1年前より県西地域2市8町で構成する実行委員会を立ち上げ、まず大会テーマについて協議した結果「地域で育てよう、青少年の明るい未来」と決定したところ、偶然にも県青少年指導員のキャッチコピー「地域で育てよう！青少年」と似てしまいました。やはり、指導員の思いは皆同じであることが確認された形となりました。

当日のオープニングアトラクションでは、小田原少女合唱隊による地元民謡を含めたさわやかな合唱がとても素晴らしく、また、小田原市による事例発表では

「地域少年リーダー養成講座」でキャンプを通じての体験研修がとても本格的で、活発な活動が伝わってきました。さらに鈴木一光氏による講演「大人が子どもを見守る意味」では、現代の親子の姿や、親子関係のあり方について、様々な体験からとてもユニークな講演をいただき、大いに盛り上げていただきました。

最後になりましたが、今回受賞されました指導員の皆様には心よりお祝い申し上げます。今後も各地域指導員の活動と地域間の交流が活発になることを願いまして、次回開催の相模原市に引き継ぎたいと思います。



小田原市事例発表



表彰を受けられた青少年指導員のみなさん

これまでのご尽力に深く感謝の意を表するとともに、心からお祝いを申し上げます。

(敬称略)

■ 横浜市

宮川 直登	鶴見区
稲崎 昭彦	神奈川区
大矢 和雄	神奈川区
瀧澤 博志	西区
柴田 義晴	中区
中西 直登	中区
永井 しげみ	南区
峰川 和久	南区
星 秀子	港南区
服部 澄子	旭区
林 輝昭	旭区
加藤 洋一	旭区
八嶋 牧男	旭区
稲村 啓子	旭区
柴田 秀郎	旭区
新井 恵子	磯子区
柳下 志朗	磯子区

横溝 むつみ	港北区
柏柳 健次郎	緑区
西村 宗一郎	瀬谷区
福井 久行	瀬谷区
堀上 義政	瀬谷区
山内 康行	瀬谷区

■ 川崎市

山鼻 みさ子	川崎区
大内 英次	幸区
安藤 昌美	中原区
姥貝 増美	高津区
片山 武司	宮前区
市川 孝夫	多摩区
渡辺 孝一	麻生区

■ 相模原市

片野 十二	中央区
中島 純子	南区

■横須賀三浦地域

塚越 五男	横須賀市
三浦 生志	横須賀市
山崎 裕弘	鎌倉市
山中 義夫	逗子市
石渡 昇	三浦市

■ 県央地域

葉山 光三	厚木市
福岡 典秋	厚木市
長橋 隆	大和市
石井 恒夫	海老名市
下山 敏彦	座間市
郷司 孝志	愛川町

■ 湘南地域

青木 一規	平塚市
森 正治	藤沢市
磯川 悦子	藤沢市
竹川 伊佐子	秦野市
吉田 清子	伊勢原市
上田 金二	伊勢原市
大橋 明	寒川町
野地 洋正	二宮町

■ 県西地域

高橋 正充	小田原市
菅沼 晶子	南足柄市
高崎 俊幸	開成町
井上 菜穂子	真鶴町

※ご了承いただいた方のお名前を掲載

社会環境実態調査が実施されました!

例年、実施されております社会環境実態調査が今年度も実施されました。御協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

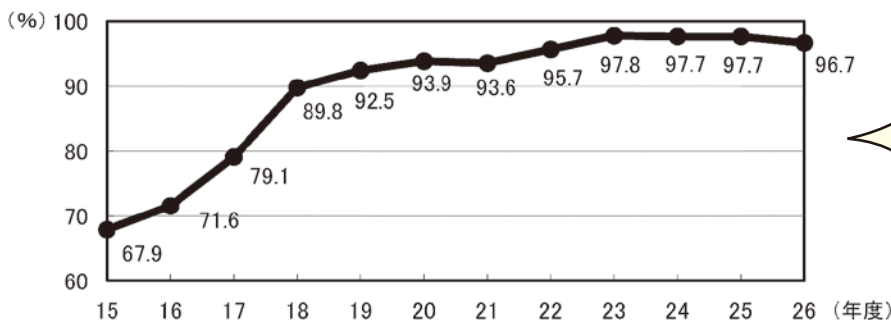
今年度の調査は、カラオケボックス、インターネットカフェ・まんが喫茶、書店の約850店舗を対象として7月から9月にかけて調査を行いました。この調査では、青少年の健全育成に影響の大きい各種営業の実態を明らかにし、青少年行政を進める上での基本データを収集することにより、地域の青少年を取り巻く社会環境の健全化の取組に役立つため、県と市町村が連携して行っているものです。また、皆様が実際に各店舗に足を運び調査を行うことにより、営業店舗に対し規範意識向上等の効果もあると考えております。

今回の調査で問題があった店舗には、行政職員が立入調査を行い、問題点を確認した上で指導等を行います。

《主な調査結果の概要》

●カラオケボックス（調査実施店舗数362店）

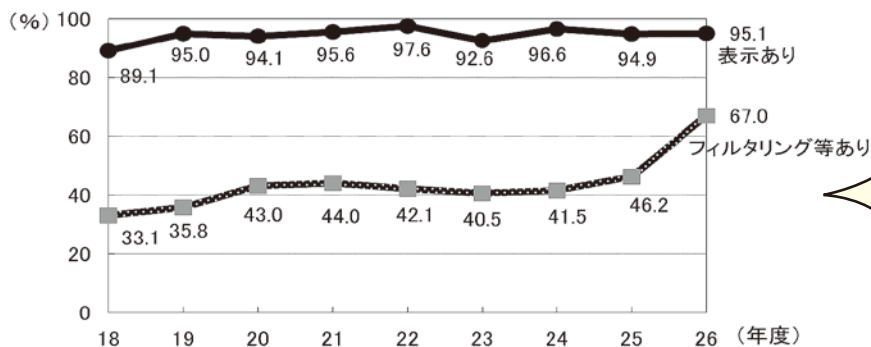
（18歳未満の深夜立入禁止表示を行っている割合の推移）



○「18歳未満の深夜立入禁止の表示」は、350店舗（96.7%）で実施。

●インターネットカフェ・まんが喫茶（調査実施店舗数103店）

（18歳未満の深夜立入禁止表示、フィルタリング等の措置を行っている割合の推移）

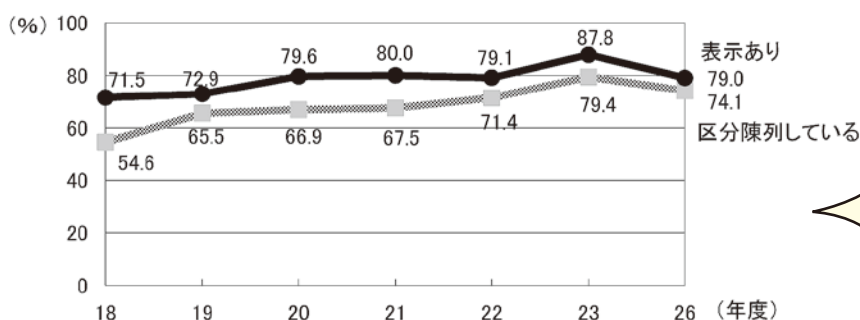


○「18歳未満の深夜立入禁止の表示」は、98店舗（95.1%）で実施。

○青少年に有害情報を読覧させないための「フィルタリング等の措置」は、69店舗（67.0%）で実施。平成25年度調査と比べ20.8%の大幅な上昇。

●書店（調査実施店舗数386店）

（有害図書類（本・雑誌等）の区分陳列及び販売・閲覧等禁止表示を行っている割合の推移）



○有害図書類（本・雑誌等）は、162店舗で取扱い。

・「区分陳列」→120店舗（74.1%）で実施。

・「販売・閲覧等禁止表示」→128店舗（79.0%）で実施。

※平成24年、25年度 書店は調査対象外のため実績なし

優良図書のご案内

県児童福祉審議会では、「児童の健全育成に資すると期待できる図書等の出版物を推薦し、児童の福祉の増進を図ること」を目的に、優良図書を推薦しています。

今年は、1月28日に開催された同審議会において、幼児以上対象6冊、小学校低学年以上対象14冊、小学校中学年以上対象13冊、小学校高学年以上対象7冊、中学生以上対象1冊の合計41冊が優良図書として選ばれました。

心の成長期にある青少年が優良な図書に触れることは、とても大切なことです。青少年に勧めていただく際の参考としてください。

優良図書の一覧は、県内の幼稚園や小中学校、図書館等に配付するほか、県のホームページでご覧いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4151/p12556.html>

または →

【平成26年度 神奈川県優良図書一覧】

■幼児以上対象
ウサギのフローレンス 野原のたんじょうび会
おつきさまはまあくなくちゃ!
くま!くま!くまだらけ
ダダダダ ダディーマン
つられたら たべちゃうぞ おぼけ
みずうみ
■小学校低学年以上対象
おたすけ なみだ と おじやま なみだ
がんばれ!名犬チロリ
くつかくしたの、だあれ?
くわくわとかぶかぶのおはなし ぼくたち けっこう すごいかも
しょうぶだ しょうぶ!-先生vsぼく-
ぜんぶわかる!タンポポ
ともだちのまほう
はしれディーゼルきかんしゃデーデ
ふたつのゆびきりげんまん
へなちよこ
ぼくはめいたんてい ハロウィンにきえたねこ
僕は46億歳。
まいにちがアドベンチャー
ヨハンナの電車のたび

■小学校中学年以上対象
あの日とおなじ空
北御門二郎 魂の自由を求めて
希望の牧場
クララ先生、さようなら
ジャムパンみたいなお月さま
昭和の子ども 生活絵図鑑
調べてみよう!生きもののふしぎ ウナギのなぞを追って
超カンタン けん玉教室
ねむの花がさいたよ
ヒートアイランドの虫たち
ぼくのレオおじさん ルーマニア・アルノカ平原のぼうけん
ボンバストゥス博士の世にも不思議な図鑑
わたしのひよこ
■小学校高学年以上対象
オリガミ・ヨーダの研究レポート
子供の心 大人の心 さ迷いながら
戦争がなかったら 3人の子どもたち10年の物語
動物のおじいさん、動物のおばあさん
図書室のふしぎな出会い
マララ 教育のために立ち上がり、世界を変えた少女
ラスト・スパート!
■中学生以上対象
《マイクとチック》14歳、ぼくらの疾走

子ども・若者育成支援強調月間の取組

11月は「子ども・若者育成支援強調月間」です。青少年を取り巻く社会環境の健全化を推進するため、関係機関・団体、市町村などの協力を得て、県内各地で様々な取組が実施されています。

青少年指導員の皆様には、各地で実施された「社会環境健全化推進街頭キャンペーン」にご協力いただき、横浜F・マリノスの中村俊輔選手の写真を使用した啓発チラシやインターネット利用のルールづくりの啓発ティッシュ等を配布し、青少年を取り巻く社会環境の健全化を呼びかけていただきました。

また、今回はこうした活動を行っている青少年指導員についてPRする取組を実施しました。

11月16日(日)の県庁舎公開日に合わせ、各地域の青少年指導員が県庁に集結し、本庁舎駐車場と大会議場にブースを設け、のぼり旗によるPRやチラシ等の配布を行い、青少年指導員とその活動についてPRを行いました。

当日は、横浜国際女子マラソンが開催されたこともあり多くの県民が訪れ、参加した指導員の方々も力が入った様子でした。



青少年指導員PR活動【本庁舎駐車場の様子】



【大会議場の様子】

【地域で活動したい青少年と、子どもたちのアイディアや行動力を活かしたい地域団体を募集します！】

～平成27年度「特命子ども地域アクター☆プロジェクト」始動～

県は、子どもの社会性を育むとともに、地域活動の担い手を育成することを目的に、NPOや企業と協働して、子どもの社会参画推進事業に取り組んでいます。

この事業では、社会との接点が少ない子どもたちを、大学の協力を得ながら、まちの魅力に気づき、積極的に課題解決や価値の向上に取り組む「子ども地域アクター」として養成、地域活性化などに取り組む大人たちの団体へと派遣します。「特命」を受けて派遣された子ども地域アクターは、大人と一緒に、地域を盛り上げるためのイベントの企画や運営などに参画することで、地域との交流を深め、社会性を身に付けます。

平成26年度は、小学5年生から高校3年生までの26名の子ども地域アクターが、県内各地域の14の団体へと派遣され、商店街を盛り上げるためのイベントの企画・運営や、コンサートの演出に携わるなど、さまざまな場面で活躍しました。



企画から携わった「みうら食彩ドーナツコンテスト」の表彰式で進行役を務める子ども地域アクター

平成27年度も次のとおり、子ども地域アクターと、派遣を受け入れる団体を募集します。様々な人たちと一緒に、地域で面白い活動をしてみたい青少年と、子どもならではの視点や行動力を活かして、活動を活性化したい団体の皆様からのご応募をお待ちしています。

	受け入れ団体	子ども地域アクター
募集期間	平成27年4月1日(水)～4月30日(木)	平成27年4月1日(水)～5月31日(日)
募集対象	県内でまちづくりをしている組織的な団体。法人格は問わず。企業も可。(約15団体)	県内在住・在学の中高生および一人で参加できる小学校高学年の児童(約30名)
応募方法	事務局ホームページで募集要件等をご確認いただき、ダウンロードした応募用紙に必要事項を記入のうえ下記の応募先へお送りください。	
スケジュール	6月中旬～下旬： 「まちづくりのいろは講座」に参加(3日程度)	
	6月中旬：子ども地域アクターと受け入れ団体との「お見合い会」を実施し派遣先を決定	
	7～12月：子ども地域アクターを各団体へと派遣	
	1月下旬：成果発表会・修了式	

※ 活動にかかる交通費はすべて支給されます。原則として費用の負担はありません。

【問合せ・応募先】

NPO法人ミニシティ・プラス(かながわ子どもの地域社会参画推進会議事務局)

Tel&Fax: (045) 306-9004 (月～金 9～17時)

メールアドレス minicityplus@gmail.com

〒224-0001 横浜市都筑区中川1-4-1-107(I Love つづき内)

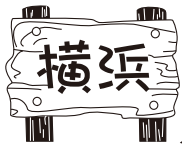
ホームページ <http://actor.minicity-plus.jp/>

または →



※ 本事業は、県、NPO及び企業で構成される「かながわ子どもの地域社会参画推進会議」が「かながわボランティア活動推進基金21」を活用して実施しており、神奈川県平成27年度一般会計当初予算成立後に有効となります。





ペットボトルロケット大会

横浜市港北区青少年指導員協議会 会長 石井 一也

港北区独自の取組として、毎年夏の終わりに開催する「ペットボトルロケット大会」に、特に力を入れて取り組んでいます。

リサイクル等の環境問題について子ども達に考えてもらうきっかけとして始めたものですが、今回で18回目を迎え、いまでは参加者280名、来場者650名を超える大会となっています。

「飛距離部門」と「デザイン部門」の2部門があり、「飛距離部門」では、子ども達は皆、決められた規格の中で、できるだけ遠くまで飛ぶようと、一生懸命にロケットを製作します。ロケットが発射される瞬間の迫力やペットボトルロケットが天高く舞い上がる様子は見ごたえ十分です。遠くへ飛んだ時の嬉しそうな顔を見るとこちらまで楽しい気持ちになります。

「デザイン部門」では、ペットボトルを色とりどりに着飾ります。今回は「ふなっしー」や「アナと雪の女王」をモチーフにしたデザインもありました。

昨夏公開された映画「宇宙兄弟」の中で、子どもの頃にペットボトルロケット大会に参加したことが、兄弟が宇宙飛行士を目指すきっかけになったと描かれました。映画製作の過程で、製作会社から取材を受け、「港北区」のペットボトルロケット大会が映画「宇宙兄弟」のモデルになったことも自慢です。

これからもペットボトルロケット大会が、区民の親睦や地域連帯意識の高揚、家族のふれあいを深める場となるよう、そしてなにより子ども達の嬉しそうな顔を見られるよう頑張ります。



ペットボトルロケット大会の様子



青少年センターまつり

大和市青少年指導員連絡協議会 会長 橋本 正彦



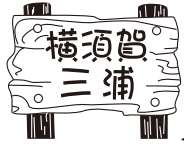
センターまつり受付の様子

大和市青少年指導員連絡協議会は、大和市並びに市教育委員会との協賛事業である「5月：大和市民まつり」、「7月：親子ナイトウォークラリー」、「12月：青少年センターまつり」の三大イベントを基軸に、更に市内12地区において自治会あるいは関連各諸団体の皆様と共に、各種の“ふれあいの場”を企画運営して地域の活性化と子どもたちの健全な育成の一助とすべく、一年を通してほぼ休みなく活動を続けています。いろいろな活動の中から今回は「青少年センターまつり」を紹介します。

昨年12月7日(日)、大和市青少年センターで第19回青少年センターまつりが開催されました。当センターを拠点として活動している青少年団体が日頃の成果を発表するとともに、団体相互のふれあいや情報交換の場とすることを目的にしたおまつりです。

私たち青少年指導員連絡協議会の団体育成部会は、市内の各中学校に呼びかけを行い中学生ボランティア(中ボラ)を募集し、34名の参加を得て「子ども部会」を立ち上げて2ヶ月前から準備をすすめてまいりました。当日の催し物の立案および実行はすべて中ボラの諸君が担い、私たち青少年指導員はあくまでも中ボラの指導・育成を主眼として裏方に徹しました。

当日は晴天にも恵まれて、中ボラ諸君の企画した「お化け屋敷」などは約1000名の来館者を迎えて大盛況でした。中ボラの年次交代は避けて通れない課題ですがこの様なイベントを介し、更なる輪が広がることを祈念しています。



8回目を迎えた中学生作文コンクール

鎌倉市青少年指導員連絡協議会 会長 下山 浩子

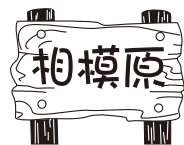
鎌倉市青少年指導員連絡協議会では、毎年市内の中学生を対象にした作文コンクールを実施してきました。今年は「古都鎌倉のまちづくり」が課題で、昨年は「未来に残したい鎌倉」がテーマでした。中学生の視点で、どのような鎌倉にしたいか、熱心にあれこれ検討した力作が毎年何百編と寄せられます。もともとは世界遺産をめざす鎌倉市のあり方を中学生に提言してもらうという主旨ではじめたコンクールでしたが、世界遺産登録を市が取り下げてからも、まちづくりの提案を中学生から聞こうと考え、青少年指導員連絡協議会の重要な催しの1つとして継続してきました。「何が鎌倉にとって大切か」「古都の景観をいかに守っていくべきか」など中学生の意見に毎回目が開かれる思いがします。1月に市議会の本会議場を借りて行う表彰式では、入選作を中学生に朗読してもらいます。市長や議員も真剣に耳を傾け、とてもすばらしい発表会になっています。



第8回中学生作文コンクール表彰式・発表会

このほか、5月の子どもたこあげ大会や、年2回の駅頭での青少年指導員健全育成キャンペーン、秋の1泊2日の子どもキャンプなど、さまざまな行事を通して、青少年と交流を深めています。また、地区の学校とは懇談会を定期開催しています。市内5つに分かれての地区活動も活発で、青少年指導員は休む暇もない忙しさです。

子どもたちの悩みや訴えをいち早くキャッチできるよう、いつも指導員は耳をすませています。



ブロック研修でスキルアップ!

相模原市青少年指導員連絡協議会 会長 市丸 克己

相模原市青少年指導員連絡協議会は、現在27地区あり、各公民館等を中心に活動を行っています。その他、春には「市民桜まつり」や「子ども会交歓スポーツ・レクリエーションフェスティバル」、秋の「親子ふれあいの広場」などの事業に参加、また指導員による「ミニ運動会」で地区を超えた交流も楽しみの一つです。

連絡協議会では広報部・事業企画部・研修部の3つの専門部を組織し、それぞれ各地区からの指導員により構成され、もう一つの活動の基盤としています。

広報部は年2回発行の「連協だより」や今年50号記念となる年間活動誌「はげいとう」の発行を担当しています。

事業企画部では先ほど紹介の市民桜まつり等の事業で、子ども達のニーズに合わせた企画・運営をしています。

研修部は、指導員の指導力向上と情報共有を図ることを目的に、全体研修の他に27地区をAからFまでの6ブロックに分け、ブロックごとに特徴のある研修会を実施しています。地域を対象とした青少年の非行防止講演会の開催や、地区ごとに工作を紹介し合ったり、バルーンアートであればその手法や材料の入手までを含めたレクチャーをしたり、地図を使っての宝探しのグループワークだったり、最近の流行を取り入れた「妖怪ウオッチ体操」などなど、その内容は実にバラエティに富んでいます。

このような専門部の活動を通して、各地区の横のつながりをひろめながら、今後も時代に即した指導員活動を目指します。



妖怪体操を真剣にレッスン中



(平成27年4月～平成27年9月の予定)

◆横浜市

○ホテル観察の夕べ(神奈川区)

親子で夜空に舞うホテルを鑑賞しませんか?
6月12日(金) 19:15～20:30
(荒天時 6月19日(金)に順延)
神奈川県立四季の森公園
神奈川区内在住又は在学の小・中学生と保護者対象

○はあと de ボランティア(都筑区)

応募期間6月中旬～7月上旬
夏休みの期間中に、中高生を対象としたボランティア体験を実施します。
(詳細は、『つづきMYプラザ』のホームページ又は都筑区内で配布する応募ちらしを御覧ください。)

○第15回チャレンジフェスティバル(戸塚区)

5月17日(日) 9時～12時
※雨天決行、参加無料
横浜市戸塚小学校グラウンド・体育館
小学生が自己ベスト目指して、幅跳び、スリッパ投げなど19種目に挑戦します。

◆川崎市

○第50回全中原中学生卓球大会

8月2日(日)
川崎市とどろきアリーナ・サブアリーナ
区内中学校卓球部員によるトーナメント方式の卓球大会

○第13回ふれあいミュージックフェスタ

9月26日(土)
多摩市民館 大ホール
多摩区生田地区の小・中学生による

合唱や吹奏楽とPTAによるコーラスの演奏会です。迫力満点のステージをお楽しみ下さい。

○第25回多摩川ウォーキング「2万歩あるいてみませんか?」

9月20日(日) 8時30分集合
二ヶ領せせらぎ館前(宿河原1-5-1)
約10キロを歩きながら、参加者同士の交流を深めます。

◆鎌倉市

○子どもたこあげ大会

5月5日(火)
雨天順延 5月6日(水)
材木座海岸
青少年指導員の手作りの和風を子どもたちと揚げる(先着80家族)

平成27年度 青少年の健全育成を進める県民大会

平成27年7月11日(土) 13時から、神奈川県立青少年センターで開催されます。

平成27年度の大会は「青少年の自己肯定感の涵養」をテーマに、国内や海外のボランティア計画の開発に携わる、昭和女子大学特任教授・日本ボランティア学習協会代表理事 興梠寛氏による基調講演を行います。また、パネルディスカッションは、コミュニティ・スクールや学校支援ボランティア研究に造詣の深い日本大学教授 佐藤晴雄氏をコーディネーターに迎えて行います。

この大会は、地元の高校生が司会進行を務めるとともに、オープニングアトラクションやパネルディスカッションにも参加します。皆さんも、県民大会に奮ってご参加ください。

[所在地] 横浜市西区紅葉ヶ丘9番地の1

[電話] 045-263-4400

[交通アクセス]

JR 根岸線「桜木町駅」北改札西口から徒歩約8分

横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から徒歩約10分

京浜急行線「日ノ出町駅」から徒歩約13分

みなとみらい線「みなとみらい駅」から徒歩約20分

編集後記

つばさ編集委員 松本 弘

陽春の候、子どもたちにとっても大人たちにとっても、なんとなくワクワクドキドキしてしまう季節になりましたが、県内の青少年指導員たちは任期の半分を終えたところです。この度、青少年指導員の活動をピシッリ詰めた「つばさ52号」がまとまりましたので、お届けします。執筆していただいたみなさん、ご協力をいただきありがとうございました。

県内のいたるところで、地域性たっぷりに子どもたちや大人たちが楽しくふれあっている様子が見えます。みなさんの頑張りはただただ脱帽です。また、みなさんの活動を参考に私の地域でもできることがありそうです。今後とも、いろいろな形で活動の展開やPRを進めていきますので、ご期待ください。

「つばさ」第24期編集委員

白石 勝己(横浜地域) 松本 弘(川崎地域) 近藤 郁恵(相模原地域) 芦澤 雄一(横須賀三浦地域)
中野 隆則(担当事務)